

七ヶ宿ダムの洪水調節効果(速報)

～ 前線に伴う出水で、七ヶ宿ダムが効果を発揮しました。 ～

9月10日から11日にかけての台風及び前線による降雨に伴う出水においては、ダムに流れ込む水の量が1秒間で296.32立方メートルにまで達し、七ヶ宿ダムの管理史上第9番目の出水となりました。

七ヶ宿ダムでは、この大きな出水をダム貯水池に貯め込むことにより、出水のピーク時にダム下流に流す水の量を84.74立方メートルに抑えるなど、合計で約2,300万立方メートルの水を貯め込み、ダム効果を発揮しました。

○ダム下流の河川水位の上昇を緩和

白石市内での河川水位を約30cm低減させました。これにより白石水位観測所(半沢屋敷)での水位は概ね「はん濫注意水位」以下に抑えられました。

○白石市サッカー場の冠水を回避

河川水位の上昇を緩和することで、白石市のサッカー場は、あわやというところで冠水を免れました。

○ダム貯水量の回復

貯留した約2,300万立方メートルの水は、水道水のダムからの取水量の100日分以上に相当します。利水補給がより確実なものとなりました。

<発表記者会：仙南記者クラブ>

(問い合わせ先)

国土交通省東北地方整備局七ヶ宿ダム管理所

宮城県刈田郡七ヶ宿町字切通52-40

TEL 0224-37-2122(代)

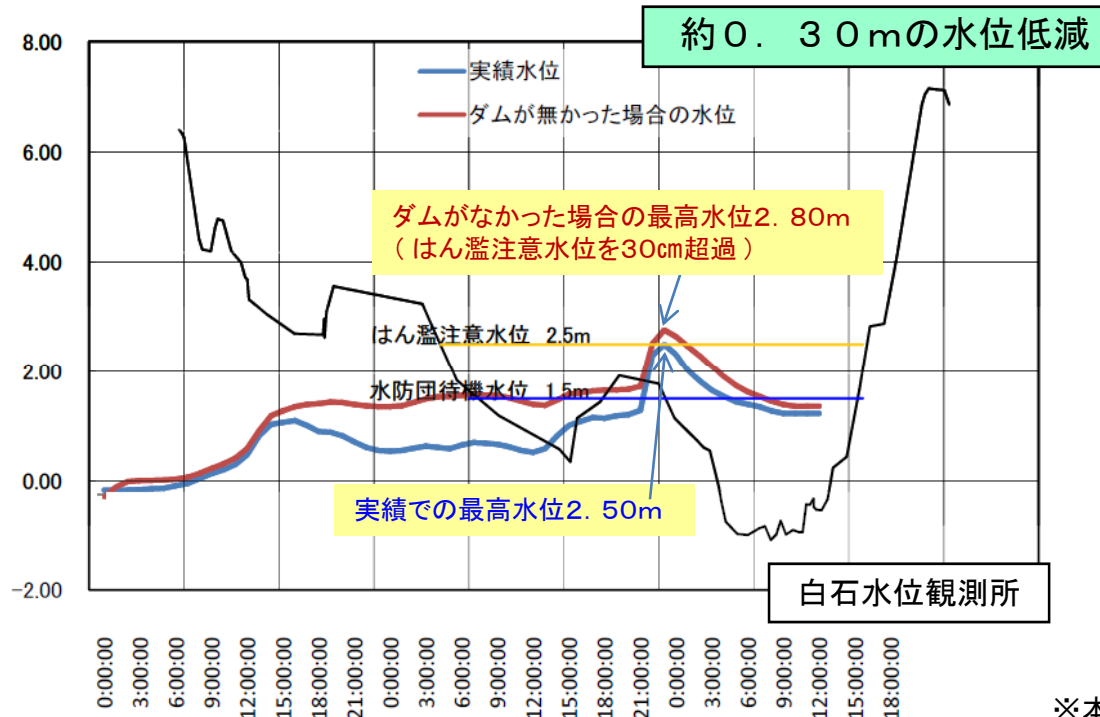
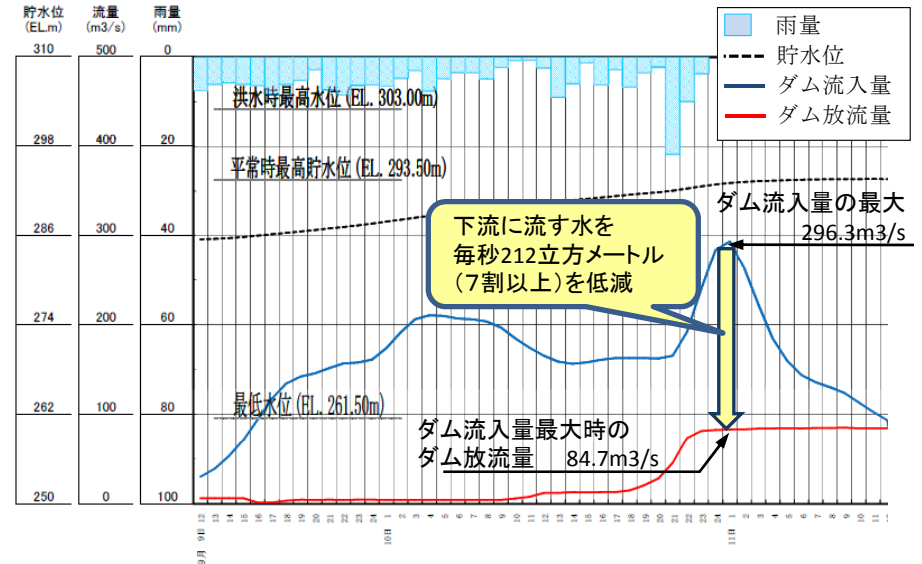
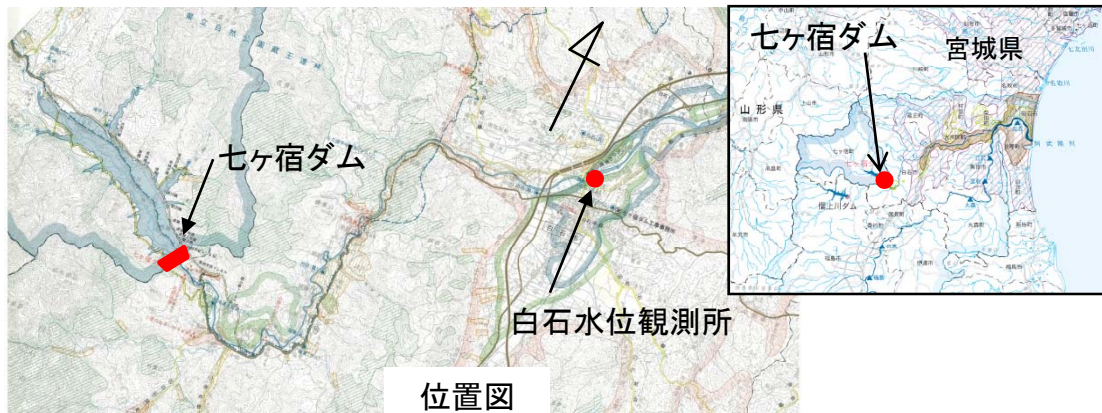
管理所長 阿部 富雄

専門職 及川 智博

出水で七ヶ宿ダムが効果(平成27年9月10~11日)

(速報値)

- 9月10~11日、台風及び前線による降雨により、七ヶ宿ダム上流域の平均累計雨量(6日13時~)は280.2mmに、最大流入量は1秒間に296.3立方メートル(七ヶ宿ダム管理開始以降第9位)に達しました。
- 七ヶ宿ダムで合計2,300万立方メートル(東京ドーム19杯分、ダムからの水道取水量の100日分以上)の水を貯め込み、これにより下流の白石市内(白石水位観測所:同市半沢屋敷)で、水位を約0.30m低減させる効果があったものと推測されます。



※本資料の数値等は速報値であるため今後の調査で変わる可能性があります。